

# 英語

## 東京大学（前期） 1/2

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

記述式とマーク式の併用。

分量・難易（前年比較） 分量（減少・**変化なし**・増加） 難易（易化・**変化なし**・難化）

リスニングに関しては2015年度よりも取り組みやすくなったが、新傾向の問題もあり、全体としての難易度は2015年度並み。

出題の特徴

読解、リスニング、英作文、文法・語法の各分野から出題される。

その他トピックス

- ・ 1(A)の指示文が「英文の要旨をまとめよ」というものになった。
- ・ 1(B)は、ここ数年出題されていた文補充問題に代わり、段落補充問題が復活した。
- ・ 2(B)は、読解と作文が融合した新傾向の問題。
- ・ 4(A)は、近年出題が続いていた不要語指摘や語句整序に代わり、5段落ある文章の各段落に引かれた5つの下線部のうち、誤った箇所を含むものを選ぶ問題が出題された。
- ・ 5では、本文の理解の助けとなるよう写真が付けされていた。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1(A)	読解総合	「人が集団を家族のように捉えることの要因と帰結」 (318 words)	本文の内容は比較的把握しやすいが、論点を取捨選択し制限字数以内で答案をまとめるのはかなり苦勞する。 《出典》Scott Atran, <i>Talking to the Enemy: Faith, Brotherhood, and the (Un)Making of Terrorists</i>	やや難
1(B)	読解総合	「言論の自由は根源的なもの」 (811 words (本文 498 words + 選択肢 313 words))	2015年度までと異なり、段落補充問題となった。本文の内容は把握しやすい。ダミー選択肢がなく、指示語などの手掛かりが豊富なため、迷う箇所はあまりない。 《出典》Steven Pinker, “Why free speech is fundamental”	標準
2(A)	英作文	「画像について思うことを述べる意見論述」 (60~80 words)	「画像について思うこと」を述べるという設問は初めてだが、基本的には問われていることは2015年度とほぼ同じである。「思うこと」として書くべき内容がやや思いつきづらい。	やや難
2(B)	英作文	「2段落の英文から導かれる結論を第三段落として書く」 (50~70 words)	英文の結論部を書くことを求められたのは初めてである。結論としては複数の内容が考えられる。なお、英文の語数は145 words。 《出典》Frans de Waal, “The Brains of the Animal Kingdom”	標準
3(A)	聞き取り	「絵画の値段と価値」 (442 words)	客観式4問。解答の根拠が把握しやすい。	標準
3(B)	聞き取り	(A)に関する討論 (714 words)	1人の司会者と2人の出演者による討論。客観式6問。2015年度と比べ取り組みやすくなった。	標準

# 英語

## 東京大学 (前期) 2/2

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
3(C)	聞き取り	「なぜ蚊に刺されやすい人がいるか」 (447 words)	客観式5問。身近な話題であり、設問も標準的である。	やや易
4(A)	文法・語法	正誤問題 「知識とその追求の重要性」 (458 words)	5段落からなる英文で分量は多いが、問われている文法事項は標準的。 《出典》Louis Menand, “The Marketplace of Ideas”	標準
4(B)	英文解釈	下線部和訳 「アフガニスタンでの戦争報道について」 (232 words)	下線部の内容・構造を把握するのは難しくはない。(ウ)のintervalは文脈を踏まえて訳す必要がある。 《出典》Jason Elliot, <i>An Unexpected Light: Travels in Afghanistan</i>	標準
5	読解総合	「都市の公共空間からのホームレスの人たちの排除」 (869 words)	(C)の空所補充問題はやや難しい。(D)の(ア)も判断に迷うものが含まれ、やや難しい。 《出典》Alex Andreou, “Anti-homeless spikes: ‘Sleeping rough opened my eyes to the city’s barbed cruelty’”	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

- 東大は、設問形式に毎年のように変化があり、2016年度と同形式の設問が来年度も出るとは限らない。よって、過去の多様な形式を踏まえて、さまざまな設問に取り組み形式の変化に対応できるようにしておく必要がある。東大英語の攻略には全般的に以下のような対策をとっておかなければならない。
- 読解に関しては、設問形式にある程度の変動はあるものの、「文脈把握力」を主に要求している点では、根本的な部分に変わりはない。難解な構文を読み解き“解釈”する作業よりも、要求された課題を念頭に置いて、一定以上のスピードで英文を読み解き、必要な情報をまとめる練習が有効である。また、日本語表現能力を高めることも怠ってはならない。
- 作文に関しては、基本的な知識の正確な運用が求められている点は変わらない。今後も形式やレベルの変動があることは予想されるので、多様な形式で練習を積み、添削指導を受ける必要がある。また、年度によっては語彙に関する設問が出題されることもあるので、語彙力の養成もしておくべきだ。
- リスニングに関しては、過去問を中心に、基本的な聞き取り能力を養い、情報を整理しながら話の展開をつかむように心がけるべきである。また、リスニング力の向上につながるので、書き取りの練習も積んでおくとういだろう。